

クリーンワンパス

CBS 300BS (3)

取扱説明書





株式会社 **サマケ**

安全標示について

ご使用のまえに、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、標示で区分して説明しています。安全標示の種類と意味は以下の通りです。

安全標示が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

安全標示	意 味
 警 告	この標示に従わなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注 意	この標示に従わなかった場合、人がけがを負う可能性がある内容を示しています。

その他の標示	意 味
<u>取扱注意</u>	この標示に従わなかった場合、製品の損傷や故障、または原料の損傷が生じる可能性がある内容を示しています。
<u>補 足</u>	使用上役立つ補足説明を示します。

重要なお知らせ



- この取扱説明書を読み、理解するまでは、操作および保守・点検を行わないでください。
 - この機械の操作および保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書に従ってください。
- いつでも調べられるように、この取扱説明書を機械の近くに大切に保管してください。

- 疑問点または不明な箇所があれば、お買い上げの販売店・JAまたは、巻末の「緊急時の連絡先」に問い合わせるまで、作業を進めないでください。
- この取扱説明書に従わなかったために、あるいは誤用や無断改造がなされたために、けがを負ったり損害が発生したとしても、販売元・製造元および販売店・JAは一切その責任を負いません。

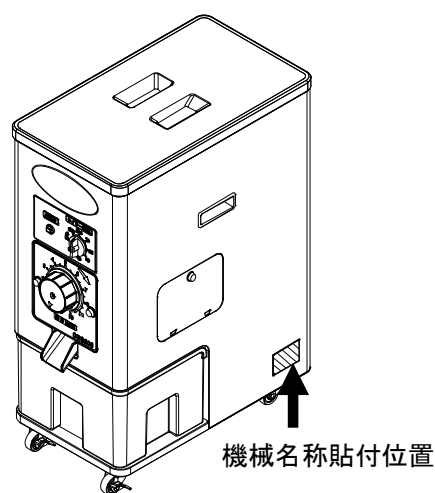
1. 近年、産業機械には、新しい材料や加工方法の採用により、さまざまな危険が数多く発生する傾向にあります。

この機械の取扱上の危険についても、すべての状況を予測することはできません。

そのため、この取扱説明書の記載および機械本体に標示している事項は、すべての危険を想定しているわけではありません。

したがって、機械の操作または日常点検を行う場合は、この取扱説明書の記載および機械本体に標示している事項に限らず、安全対策に関しては十分な配慮が必要です。

2. この取扱説明書について、質問やより詳しい情報が必要な場合は、お買い上げの販売店・JA または、巻末の「緊急時の連絡先」にお問い合わせください。
3. この取扱説明書において、万一、ページの「乱丁」や「落丁」などがあった場合は、お取り替えいたします。お手数ですが、お買い上げの販売店またはJAまでご連絡ください。なお、その際は機械名称も合わせてご連絡ください。



保証の限定

本製品は厳密な品質管理と検査を経てお届けしたものです。万一、正常なご使用状態において故障した場合には、納入日より1年間、または処理量が玄米8俵（480kg）までのいずれかに該当する場合は、無料で修理いたします。

<保証事項>

1. 取扱説明書、本体標示ラベルに従った使用により機械が保証期間内に故障した場合には、保証書をご持参ご提示の上お買い上げの販売店またはJAに修理をご依頼ください。
ただし、保証書のご提示なき場合、消耗部品およびその交換費用は保証期間内でも有償となります。
2. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
3. 無料修理期間中でも、次の場合は有料修理になります。
 - (1) 誤った使用方法、あるいは取扱上の不注意によって生じた損傷および故障。
 - (2) 不当な修理や改造によって生じた損傷および故障。
 - (3) 火災、公害、塩害、異常電圧などの外部要因、地震、雷、風水害などの天変地異によって生じた損傷および故障。
 - (4) 一度据え付けた後の移動、落下により生じた損傷および故障。
 - (5) 弊社純正部品以外の使用、お買い上げの販売店・JAまたはその指定サービス工場以外での修理による故障。
 - (6) 保証書の紛失、保証書の記入事項または字句を勝手に訂正された場合。
 - (7) 木切れや石などの異物が機械内に入って生じた損傷および故障。

<免責事項>

1. 上記(1)から(7)の場合、保証期間内外を問わず、これにより生じる直接および間接損害、その他一切の損害については、何ら責任はないものといたします。
2. お客様が本製品を別のお客様にお譲りになる場合は、必ず、お買い求めいただいた販売店またはJA、もしくは新しく製品をお求めになる販売店またはJAにご相談ください。
お客様が別のお客様に直接お譲りになりますと、製品の状態（修理履歴、移設作業の状態）、付属品（取扱説明書等）の有無を把握できないため、製品の安全性や性能について保証できなくなります。

もくじ

	ページ
安全標示について	i
重要なお知らせ	ii
保証の限定	iv
ご使用のまえに	
安全上の注意事項	1
安全作業のしおり	3
標示ラベルについて	5
各部のなまえ	6
表示部・操作部のなまえとはたらき	8
運転前の準備	
精米作業前の準備	10
運転のしかた	
機械の運転操作	12
点検・調整	
精米作業後の点検と作業	15
困ったとき	
困ったときの対処のしかた	20
その他	
消耗部品	31
仕様	32
寸法図	33
保証とアフターサービス	34
緊急時の連絡先	巻末

安全上の注意事項

1. 一般順守事項

＜安全運転に関する事項＞

- (1) 梱包を開梱した後は、機械をおおっているビニール袋で子供が遊ばないように、手の届かない場所に置くか処分してください。
- (2) 電源プラグを差した後は、機械内部などの通電部分には、絶対に触れないでください。
- (3) 長い髪は束ね、作業に適した服装および安全靴で作業してください。
- (4) 機械の上に工具などの物を置いて、機械を作動させないでください。
- (5) 機械を起動する場合は、機械の周囲に人がいないのを確認の上、起動してください。
- (6) 運転中は機械の可動部に触れないでください。
- (7) 各操作部は、ていねいに操作してください。乱暴に操作すると、誤動作および故障の原因になります。
- (8) 運転中は特に指示する箇所以外、機械の点検および調整を行わないでください。
もし、機械の点検および調整の必要がある場合は、主電源を切り、機械が完全に停止している状態で行ってください。
- (9) 漏電事故防止のために元電源に漏電ブレーカを設置してください。設置については、電気工事店に依頼してください。
- (10) 落雷のおそれがあるときは機械保護のため、運転を停止し、電源プラグを抜いてください。
- (11) 機械には水を掛けないでください。
水が掛かると電源回路がショートし、機械が故障または損傷するおそれがあります。
- (12) 機械の周囲には、作業に関係のない人を近づけないよう注意してください。特に子供を遊ばせないように注意してください。

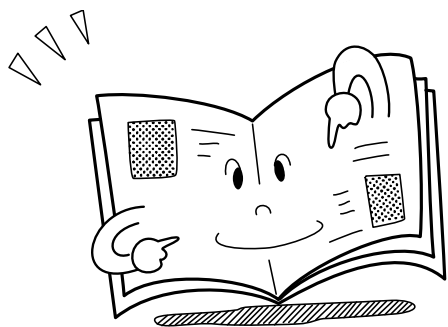
2. 特別順守事項

この機械の取り扱いについては前述の一般順守事項のほかに、この機械特有の特別順守事項があります。一般順守事項とともに、以下の特別順守事項にも従ってください。

<安全運転に関する注意事項>

- (1) カバー類はすべて取り付けて運転してください。また運転中はカバー類を取り外さないでください。回転体に挟まれる危険があります。
- (2) 機械の運転中は、異常音・異常振動などがいないか運転状態を監視してください。
- (3) 水平でしっかりとした場所に据え付けてください。
水平でないと振動の発生や性能の低下の原因になります。
- (4) 各部の掃除、点検や異常・故障時の処置をする場合は、電源プラグを抜き、機械が完全に停止している状態で行ってください。

安全作業のしおり

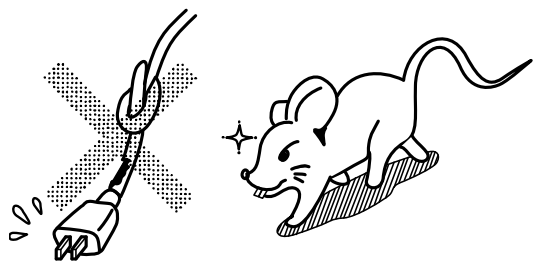


- (1) 取扱説明書をよく読み、理解して作業を行ってください。また、いつでも取り出せる場所に保管しておいてください。



警告

- 取扱説明書を読み、理解するまでは、操作および点検を行わないでください。

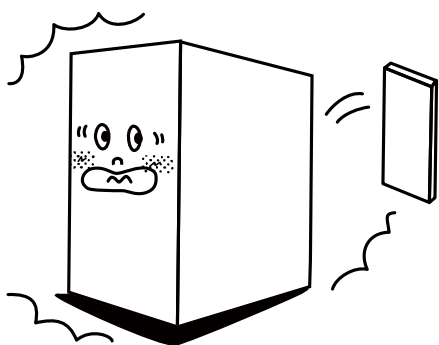


- (2) 電源コードに異常がないか確認してください。



警告

- 被覆のはがれがあると、漏電、ショートの原因になります。

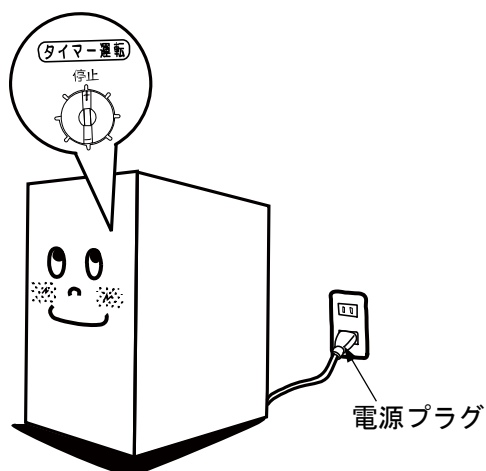


- (3) 安全カバー類は作業中取り外さないでください。

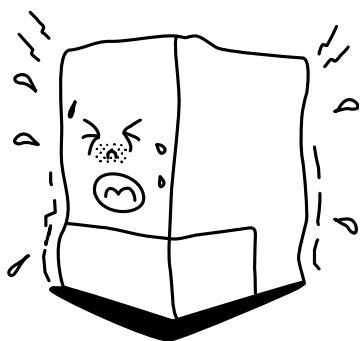


警告

- 回転体に挟まれる危険があります。



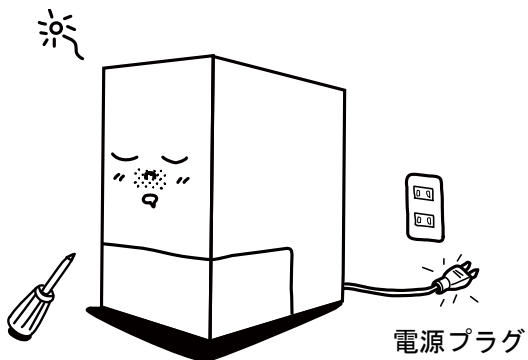
- (4) 緊急時は、電源プラグを抜くか、または、[タイマー]を[停止]の位置にして機械を停止してください。



- (5) 異常を感じたら直ちに作業をやめ、点検をしてください。

取扱注意

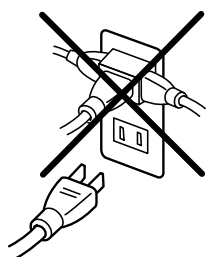
- 過負荷状態で作業しないでください。



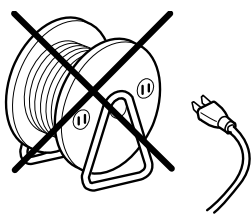
- (6) 清掃・点検・調整時は、必ず機械を止めて行ってください。



- 清掃・点検・調整時には、電源プラグは必ず抜いてください。



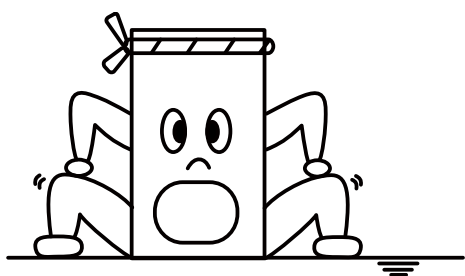
- (7) タコ足配線は、絶対に行わないでください。



- (8) コードリール等の延長コードは絶対使用せず、直接コンセントから電源を取ってください。

取扱注意

- 電源電圧（運転中）が 90V 以下になると運転不能になる場合があります。



- (9) 本機はコンクリートなどのしっかりとした地面に設置してください。

取扱注意

- 水平でないと、振動の発生や能力の低下の原因になります。

標示ラベルについて

この機械には、特に注意を要する箇所に標示ラベルが貼り付けてあります。
これらの正確な位置および危険防止の内容について、十分に時間をかけて理解してください。

1. 標示ラベルの貼付位置

標示ラベルの貼付位置と標示ラベルの内容については、**図1**を参照してください。

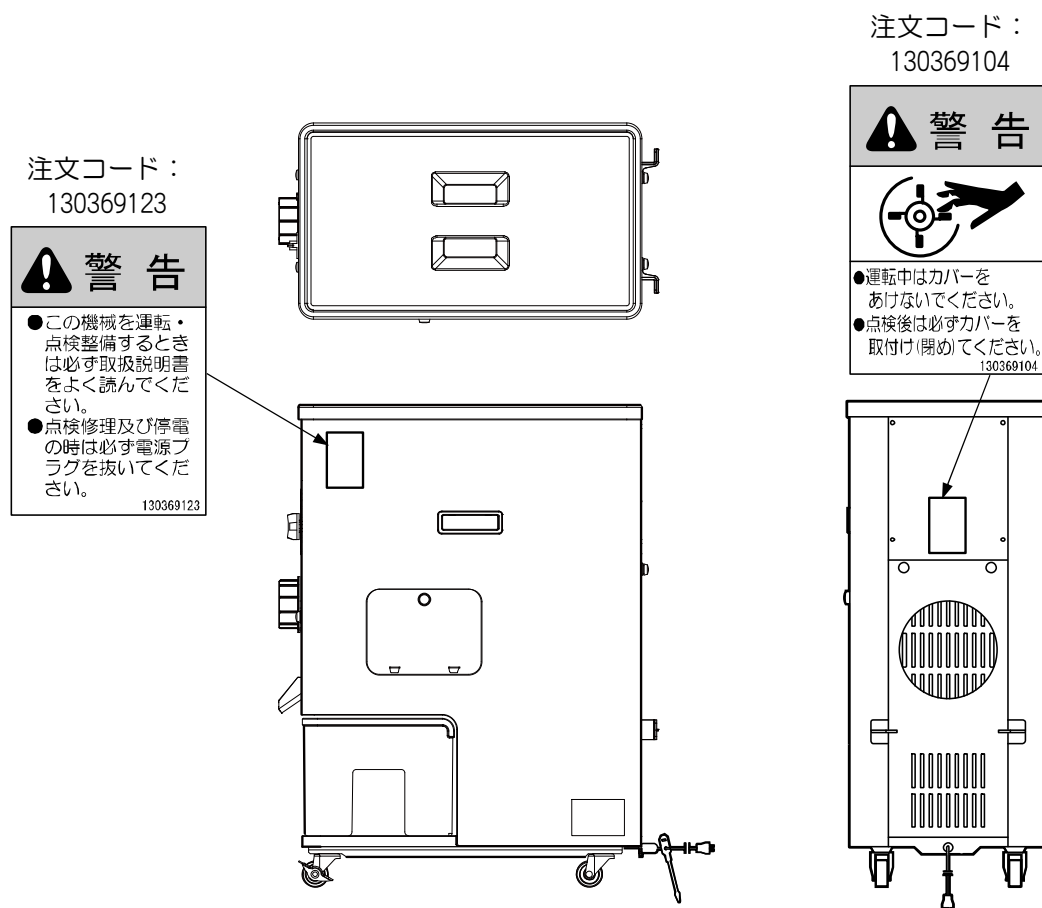


図1 標示ラベル貼付位置

2. 標示ラベルの取扱い

- 標示ラベルがすべて読めるか確認してください。
文字やイラストが見えない場合、標示ラベルの汚れを落とすか交換してください。
- 標示ラベルの汚れ落としには布、水、洗剤を使用してください。
有機溶剤やガソリンなどを使用しないでください。
- 標示ラベルの損傷、紛失、読めない場合は、標示ラベルを購入して貼り替えてください。
問い合わせ先は、巻末の「緊急時の連絡先」を参照してください。

各部のなまえ

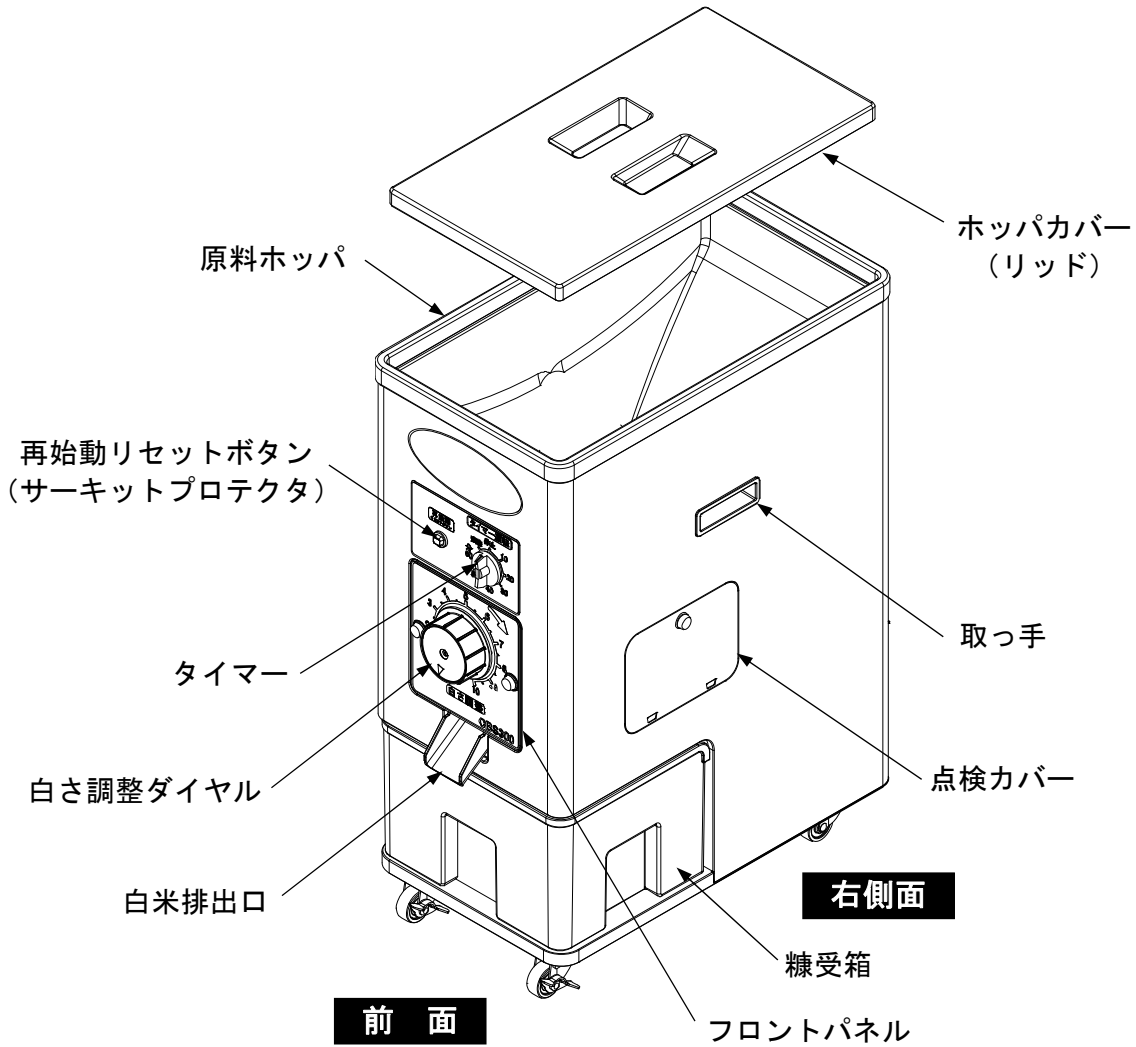


図 2 機械全体図 (1)

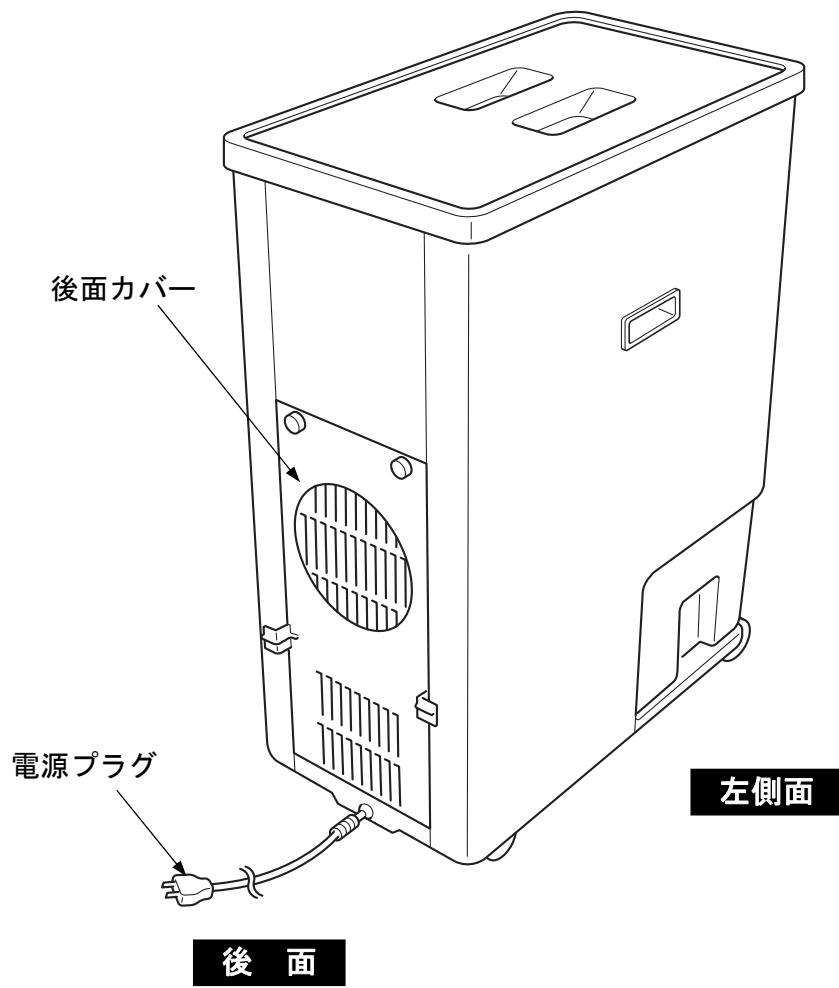


図 3 機械全体図 (2)

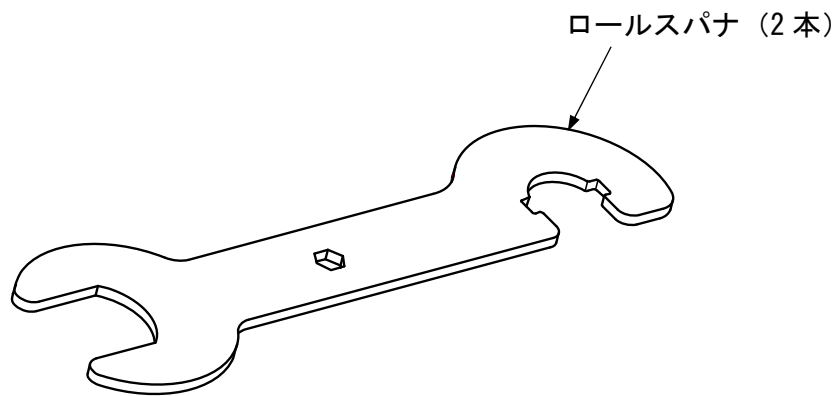


図 4 付属部品

表示部・操作部のなまえとはたらき

警告

● 本書をよく読み、理解するまでは機械を作動させないでください。

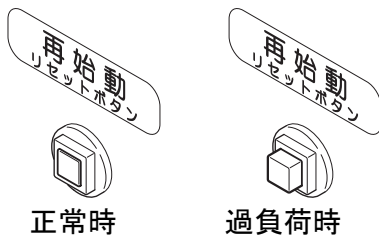
● 操作については、12ページ「機械の運転操作」を参照してください。

再始動リセットボタン

過負荷停止のとき中央部が飛び出します。

再始動時は、[タイマー]を[停止]の位置にし[白さ調整ダイヤル]を[0]の位置に戻してから、飛び出した部分を押し込んでください。

(21ページ「3) 過負荷のため、サーキットプロテクタが働いている」を参照してください)



タイマー

[停止]の位置で停止します。左へ回し[連続]の位置で連続運転、右へ回すと好みの時間に設定できます。

- ・タイマーを設定すると、精米機が始動します。
- ・10分以下にセットするときは、一度20分以上に回してから戻してください。

白さ調整ダイヤル

右へ回すと米の白さが上がります。左へ回すと米の白さが下がります。

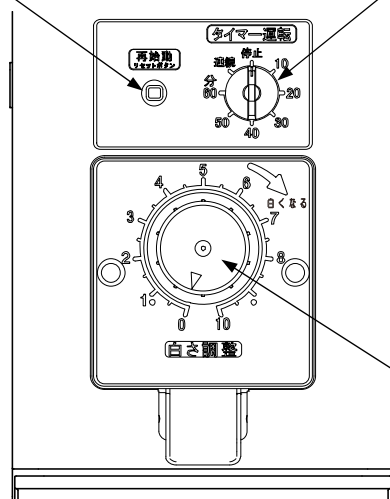
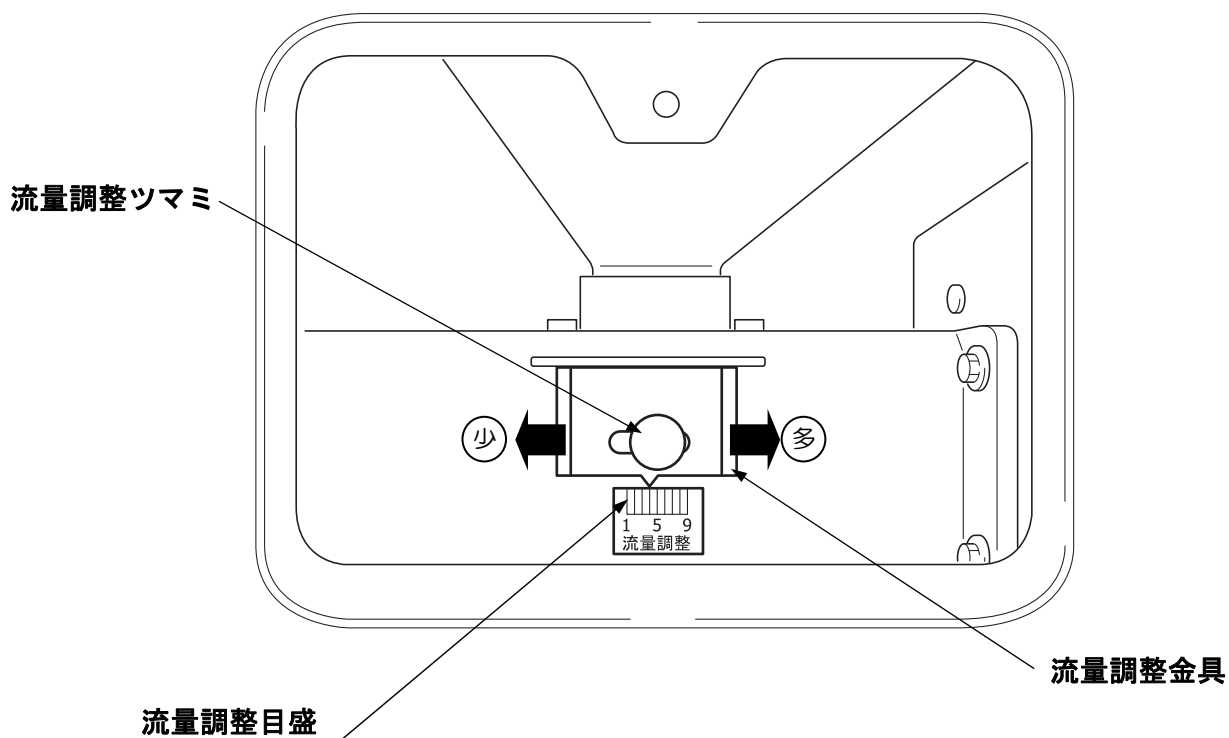


図 5 機械操作箇所

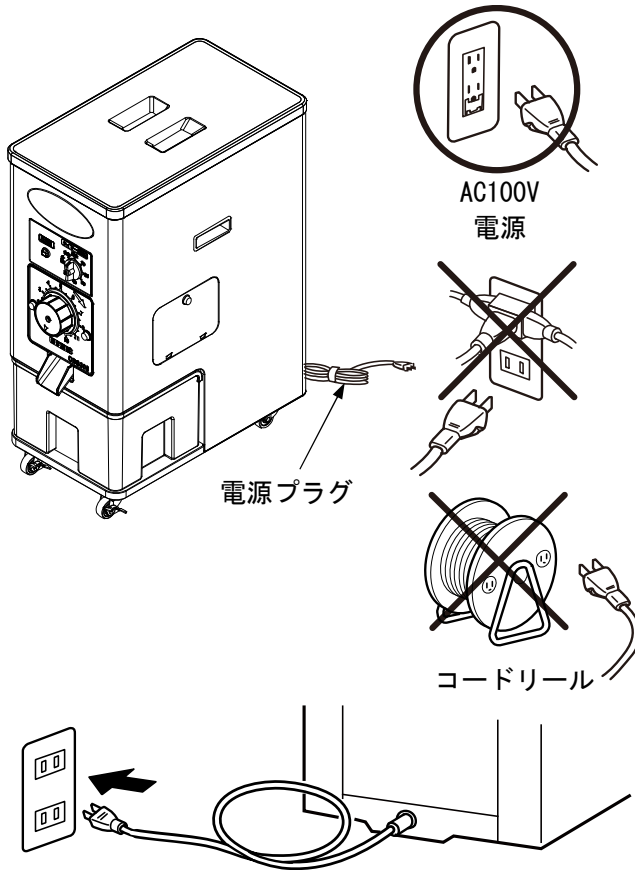


〔流量調整ツマミ〕を緩め、〔流量調整金具〕を右に動かすと流量が多くなり、左に動かすと流量が少なくなります。調整後は〔流量調整ツマミ〕を締めて、〔流量調整金具〕を固定してください。
 (出荷時は標準位置“4目盛前後”に合わせています)

図 6 機械操作箇所 (点検カバーを外した状態)

精米作業前の準備

1. 使用電源について

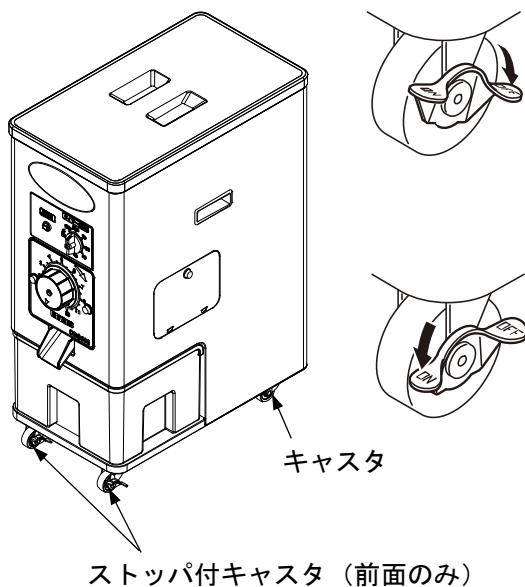


- 必ず単相 AC100V の電源を使用してください。
- 1 つのコンセントから他の消費電力の大きな機械と一緒に使用しないで、単独で使用してください。
- コードリール（延長コード）は絶対に使用せず、精米機の電源プラグを直接 AC100V 電源に接続してください。

取扱注意

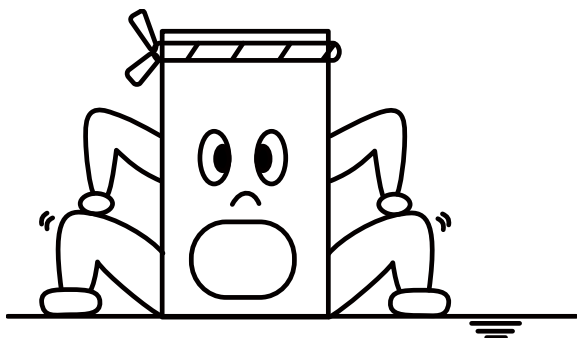
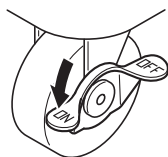
- 電源電圧（運転中）が 90V 以下になると運転不能になる場合があります。

2. 機械の移動



- 1) キャスタのストッパを外します。
(OFF を押す)
 - 前面の左右（2 カ所）にストッパ付キャスタがあります。
- 2) 機械を移動します。
 - 機械を押して、作業場所へ移動します。
- 3) キャスタのストッパをセットします。
(ON を押す)

3. 機械の据付



1) 機械を水平に据え付けます。

- キャスタのストッパをセットします。
(ON を押す)

2) 機械のガタつきがないか確認します。

- 機械の据え付けは、平らでしっかりとした場所を選んでください。
- 機械がガタついている場合は、ライナー等を敷き調整してください。

取扱注意

- 水平でないと、振動の発生や能力の低下の原因になります。

4. 使用環境温度について

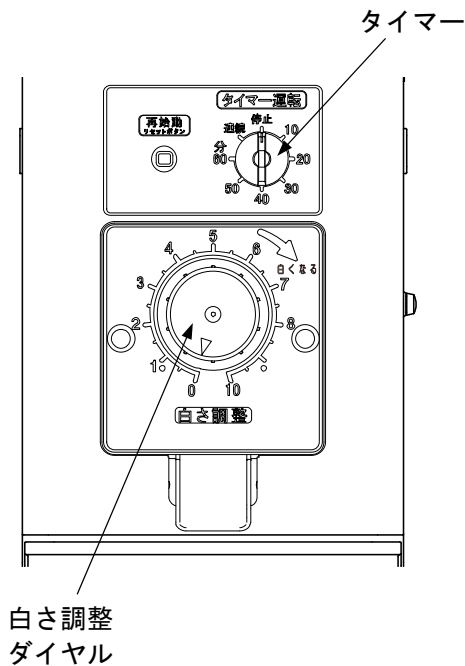
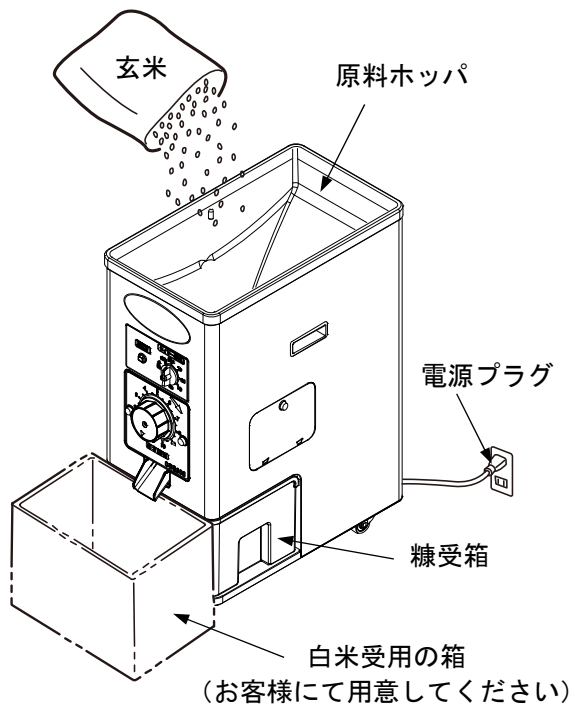
より良い品質の精米をするために、環境温度は 5~30℃の範囲ですることをお勧めします。

取扱注意

- 環境温度が 5℃以下になると白さが足りなくなったり、排出口付近に糠が付着しやすくなったりします。
- 環境温度が 30℃以上になると白米温度が高くなったり、碎米が増えたりします。

機械の運転操作

1. 精米作業の開始方法



- 1) 電源プラグを AC100V 電源に差し込み、原料ホッパへ玄米を張り込みます。

取扱注意

- 粃・小石・異物は入れないでください。
- 張り込む玄米は 15kg 以下にしてください。

- 2) 糠受箱をセットして、白米受用の箱などを準備して白米出口にセットします。
- 3) [白さ調整ダイヤル] を [0] の位置にセットします。
- 4) [タイマー] をセットすると機械が始動します。

[タイマー] は左に回し [連続] の位置で連続運転、右へ回すと好みの時間に設定できます。[停止] の位置で停止します。

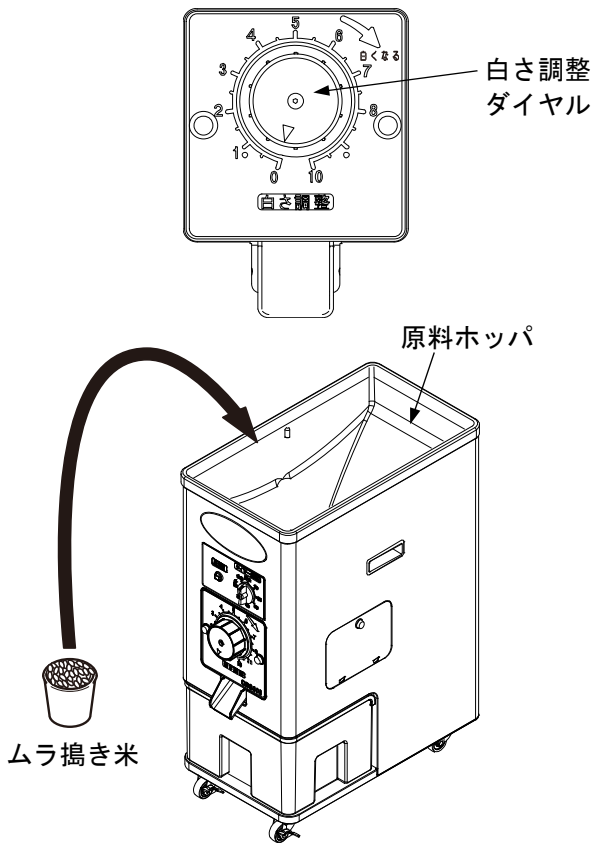
10 分以下にセットするときは、一度 20 分以上に回してから戻します。

張込量(kg)	5	10	15
運転時間(分)	約 15	約 30	約 45

- 運転時間は米の水分や品種等によって多少変わります。

取扱注意

- 連続の場合は糠受箱の糠が一杯に溜まらないように、また白米受用の箱が白米で一杯にならないように注意してください。
- 糠受箱の容量は、玄米で約 15kg 分ですが、玄米の性状や使用条件等により、許容量は変動します。



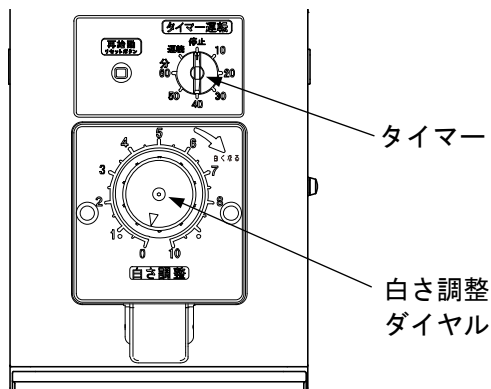
5) お好みの白さになるように「白さ調整ダイヤル」を回します。

- 右へ回すと米の白さが上がります。
- 左へ回すと米の白さが下がります。

取扱注意

- 運転始めはムラ搗き米が排出されます。ムラ搗き米は原料ホッパへ戻してください。
- 高水分米（16～17%）を精米する場合は2回搗きをするか、玄米を乾燥してください。
- 保冷庫などに保管された玄米を精米する場合は、保管場所から出し日陰で1日程度放置した後、作業してください。
- 胴割米の混入が多い場合等は、2回搗きをしてください。
- 虫害米・虫の混入が多い玄米は入れないでください。

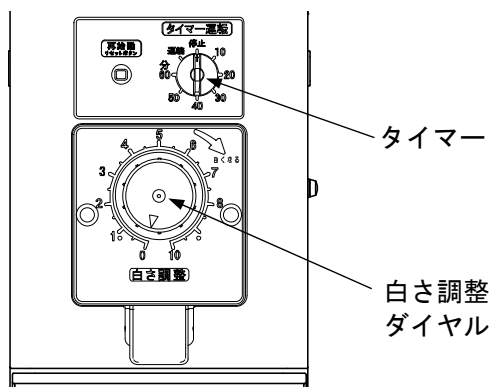
2. 精米作業の一時中断方法



1) 「白さ調整ダイヤル」を [0] の位置まで戻します。

2) 「タイマー」を「停止」の位置に合わせます。

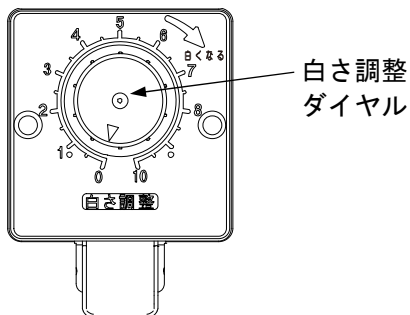
3. 一時中断からの精米作業の再開方法



1) 「白さ調整ダイヤル」が [0] の位置にあることを確認します。

2) 「タイマー」をセットすると機械が始動します。

- 「タイマー」は左へ回し「連続」の位置で連続運転、右へ回すと好みの時間に設定できます。



白さ調整ダイヤル

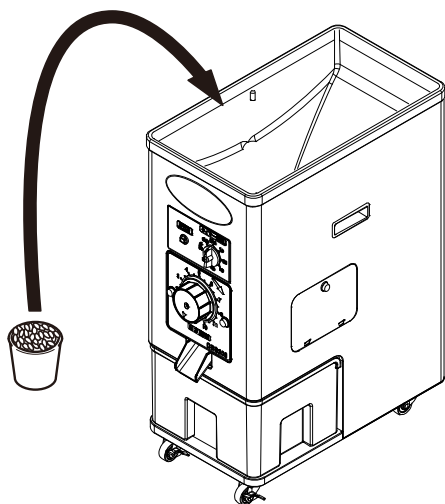
3) お好みの白さになるように「白さ調整ダイヤル」を回します。

- 右へ回すと米の白さが上がります。
- 左へ回すと米の白さが下がります。

取扱注意

- 運転始めはムラ搗き米が排出されます。ムラ搗き米は原料ホッパへ戻してください。

4. 精米作業の終了方法



1) 原料ホッパの米がなくなる前に搗き上がっている白米をカップ1杯程度（約150g）入れます。

- 白米を入れると同じ白さに仕上がります。
- 金網内に少量の米が残ります。

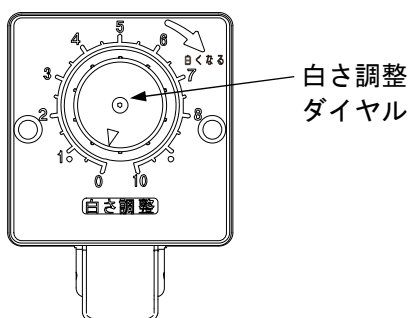
（15ページ「(1) 残留米を排出するとき」を参照してください）

2) 白米の排出が終わったら、「白さ調整ダイヤル」を「0」の位置に戻します。

3) 「タイマー」を「停止」の位置に合わせます。

運転のしかた

5. もち米の精米作業方法



白さ調整ダイヤル

- 1回で白さが上がらない場合は、2回搗きを行ってください。

取扱注意

- 一度に白さを上げると過負荷停止し、機械が詰まることがあります。

精米作業後の点検と作業

1. 各部の掃除



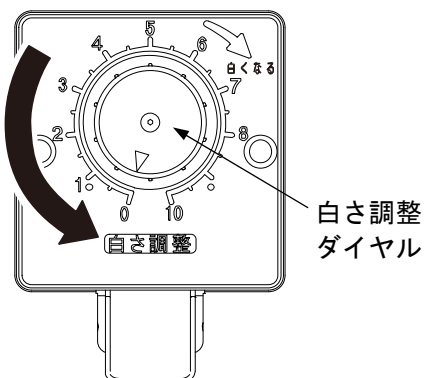
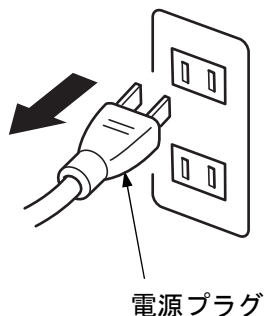
- 各部の点検と掃除をするときは、電源プラグを抜いて行ってください。

取扱注意

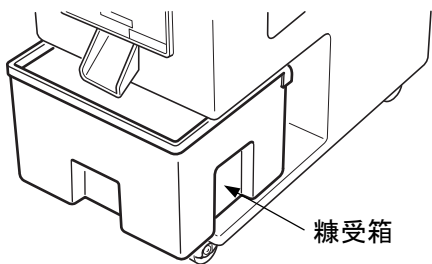
- 作業終了後は、必ず機内・機外の掃除をしてください。
- もち米などを精米する前後も、必ず機内・機外の掃除をしてください。

(1) 残留米を排出するとき

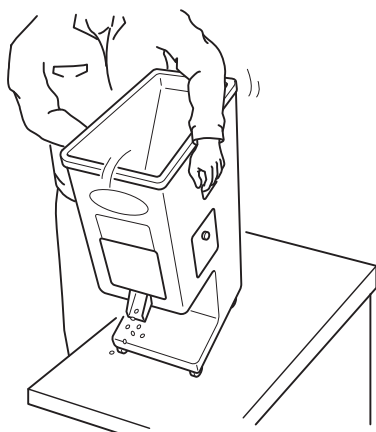
- 1) 電源プラグを抜きます。



- 2) [白さ調整ダイヤル] を [0] の位置に戻します。



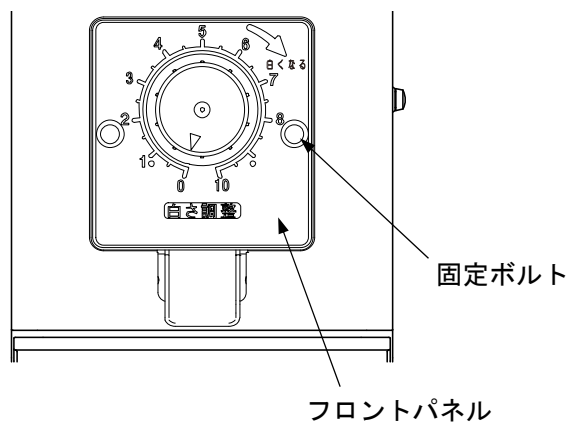
3) 糠受箱を取り外します。



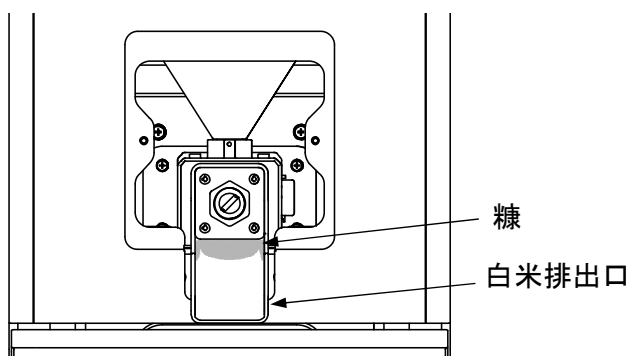
4) 本体の白米排出側に傾けて、少しゆすりま
す。

- 残留米が排出されます。

(2) 白米排出口の掃除



1) 固定ボルト (2 本) を緩めて、フロントパ
ネルを取り外します。

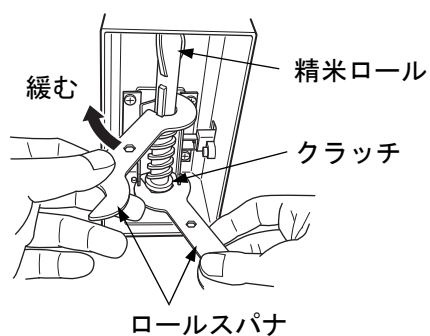
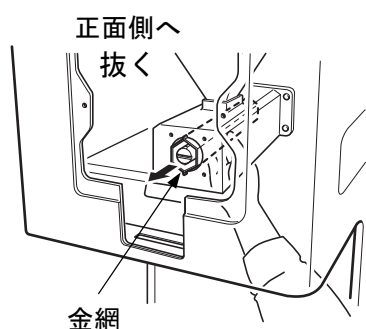
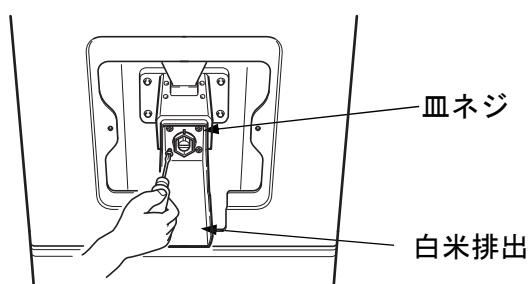
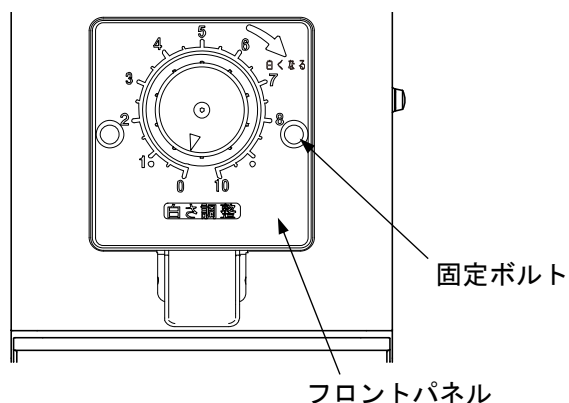


2) 白米排出口の表面に付着している糠を柔ら
かい布などで拭き取ります。

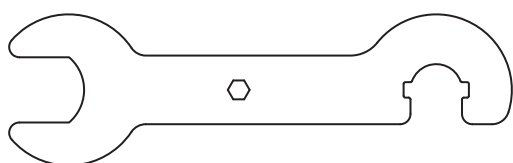
- 糠が取れにくい場合は、布を水で湿らせ
て拭いてください。

3) フロントパネルを元通りに組付けます。

(3) 金網・精米ロールの掃除・交換



クラッチ側 精米ロール側



1) 残留米を排出します。

(15ページ「(1) 残留米を排出するとき」を参照してください)

2) 固定ボルト (2本) を緩めて、フロントパネルを取り外します。

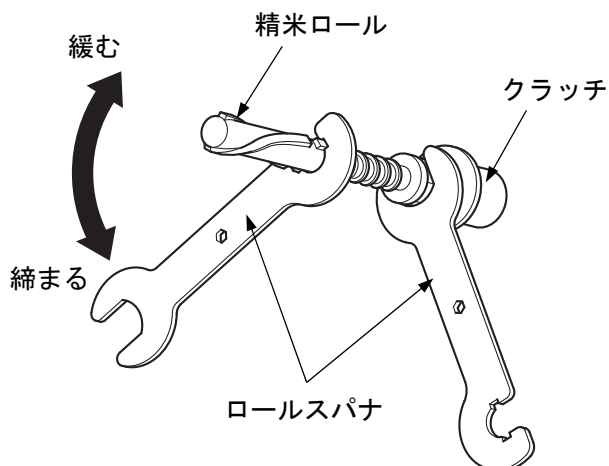
3) 皿ネジ (2本) を外して、白米排出口を取り外します。

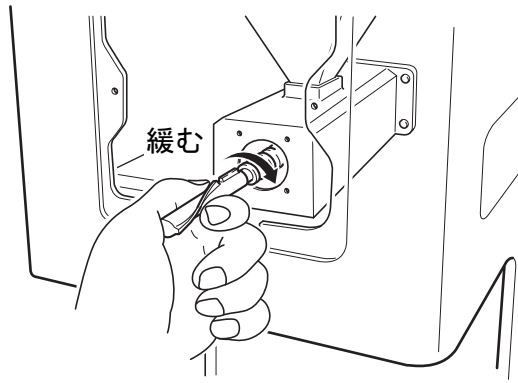
4) 糠受箱を取り外し、金網の下から手を入れて金網を正面側へ抜きます。

- 金網が精米ロールに引っ掛からないように金網を中心に合わせるようにして抜いてください。

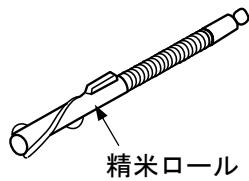
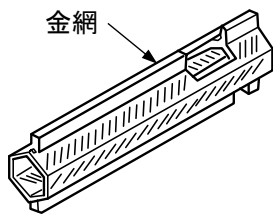
5) 付属のロールスパナを使って精米ロールのネジを緩めます。

- 精米ロールのネジは左ネジなので時計方向に回して緩めます。



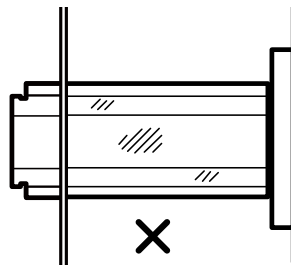
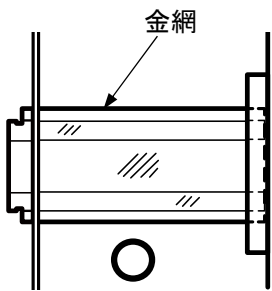


6) 精米ロールが緩んだら、手で時計方向に回しながら抜きます。



7) 金網、精米ロールをブラシなどで掃除します。

8) 金網、精米ロールを組み付ける場合は、分解の逆の順序で行ってください。

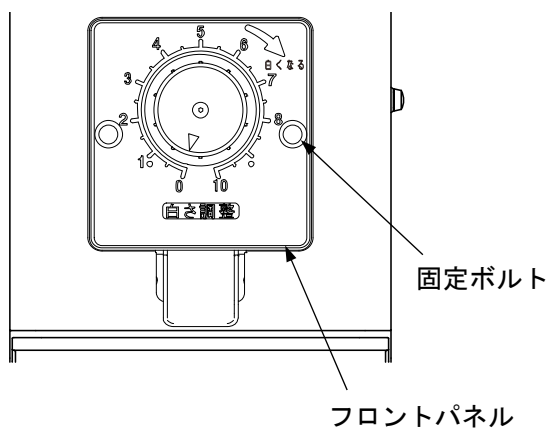


取扱注意

- 金網を組み付ける場合は、しっかりと奥まではめ込んでください。

点検・調整

(4) 抵抗板の掃除・交換

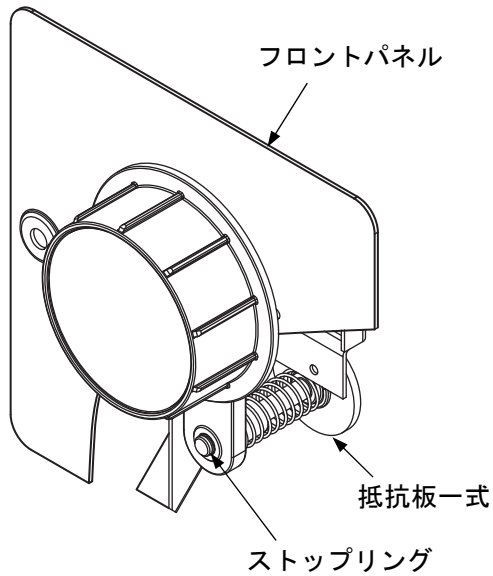


1) 残留米を排出します。

(15ページ「(1) 残留米を排出するとき」を参照してください)

2) 固定ボルト (2本) を緩めて、フロントパネルを取り外します。

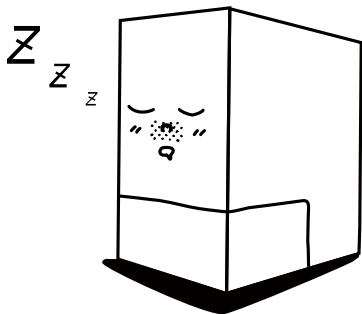
3) 抵抗板一式をブラシなどで掃除します。



4) 交換する場合は、抵抗板一式を取り付けているストップリングを外して、抵抗板一式を取り外します。

5) 抵抗板一式を組み付ける場合は、取り外しの逆の順序で行います。

2. 機械の保管



1) 機内、機外の掃除を行います。

(15ページ「1. 各部の掃除」を参照してください)

2) 機械を保管場所へ移動します。

(10ページ「2. 機械の移動」を参照してください)

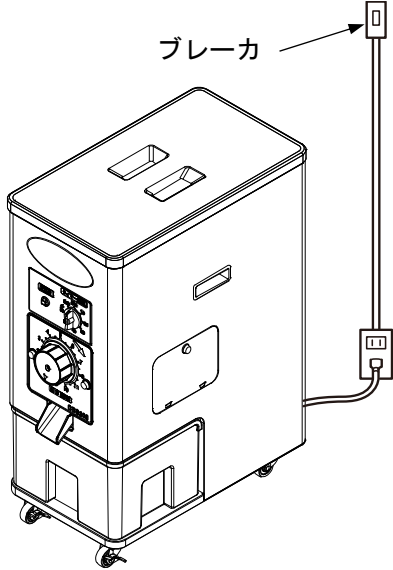
- 機械の保管場所は、雨などが掛からず乾燥した平らな所にしてください。
- 機械を保管するときは、電源プラグを抜いてください。
- 機械内にネズミが侵入しないように注意してください。

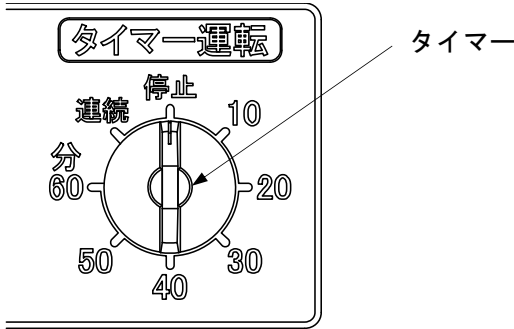
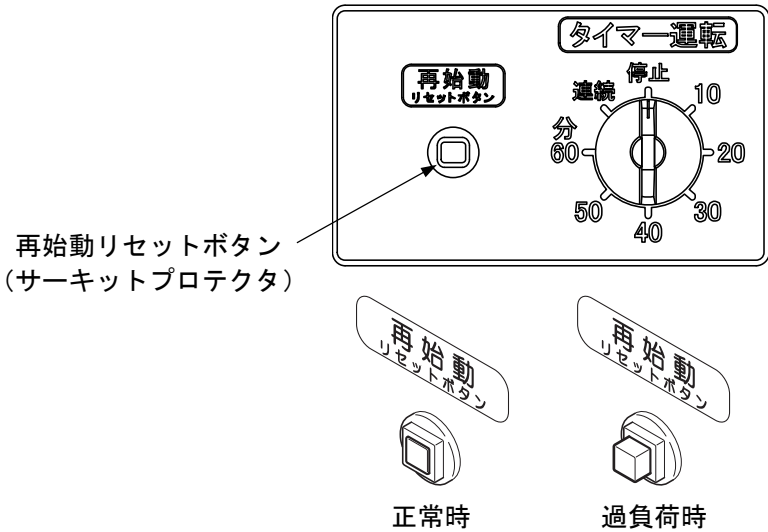
困ったときの対処のしかた

警告

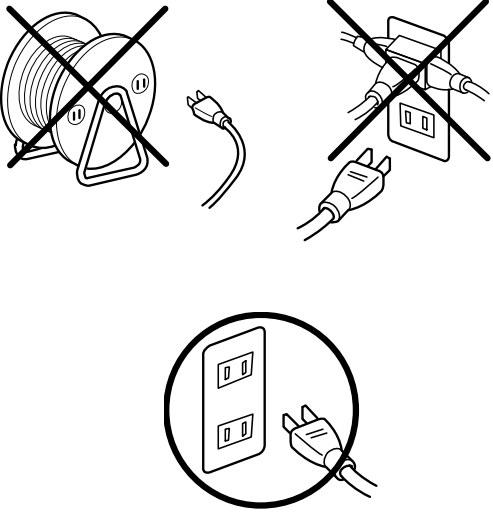
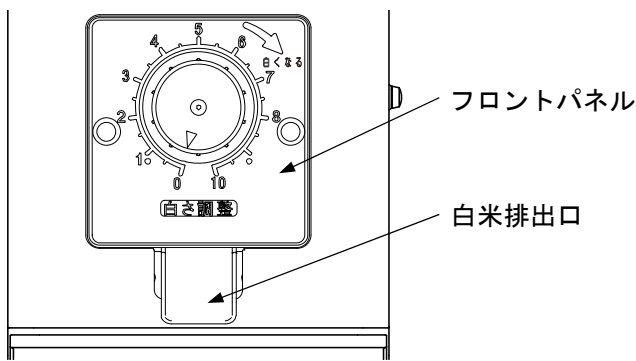
- 各部の点検をするときは、必ず電源プラグを抜いてください。
- 調整後は、作業安全のため、必ずカバーを元通りに取り付けてください。
- 本書の指示に従ったにもかかわらず、異常・故障が直らない場合はお買い上げの販売店またはJAに連絡してください。

(1) [タイマー] をセットしてもモータが回らない

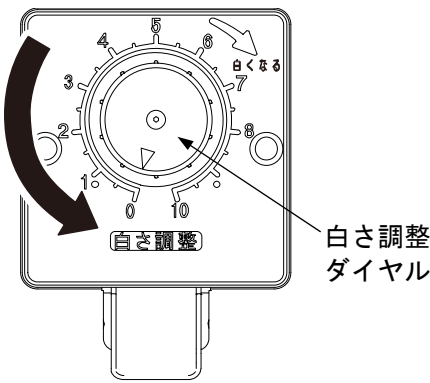
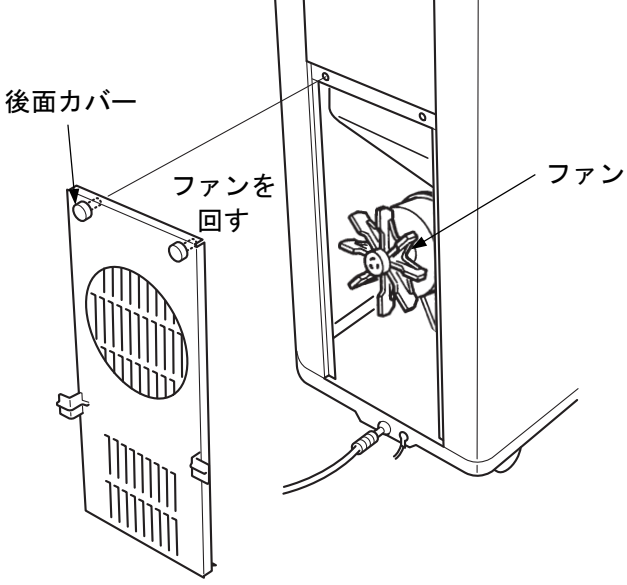
原因	処置方法
1) 電源がきていない	<p>(a) ブレーカが働いていないか点検してください。</p> <p>(b) 停電の場合は復旧するまで待ってください。</p> <div data-bbox="751 1115 1145 1682"><p>The diagram shows a rectangular machine on wheels. On the top surface, there is a small rectangular switch labeled 'ブレーカ' (Circuit Breaker). A power cord is plugged into the back of the machine.</p></div> <div data-bbox="836 1749 1078 1816"><h2>注意</h2></div> <ul style="list-style-type: none">● 原因がわからないときは、お買い上げの販売店・JAまたは電気工事店に連絡してください。

原因	処置方法
<p>2) [タイマー]が[停止]の位置になっている</p>	<p>(a) [タイマー] をセットしてください。 (左へ回し [連続] の位置で連続運転、右へ回すと好みの時間に設定できます)</p> 
<p>3) 過負荷のため、サーキットプロテクタが働いている</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>取扱注意</p> <p>● 操作は必ず、以下の順序で行ってください。 [再始動リセットボタン] の故障の原因となります。</p> </div> <p>(a) [タイマー] を [停止] の位置にしてください。</p> <p>(b) [白さ調整ダイヤル] を [0] の位置に戻してください。</p> <p>(c) 精米機停止後、5～10分後に [再始動リセットボタン] を押し込んでください。</p> <p>(d) [タイマー] をセットして、運転を始めてください。</p> 

(2)サーキットプロテクタが作動する、または米が詰まる

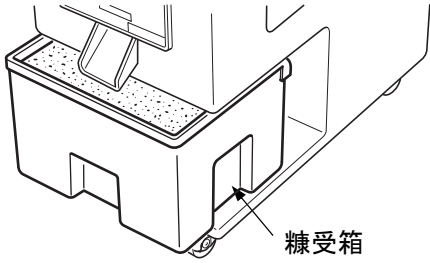
原因	処置方法
<p>1) 電源電圧が低すぎる</p>	<p>(a) コードリール（延長コード）の使用やタコ足配線は絶対にしないでください。電源プラグは直接AC100V電源へ接続してください。</p> 
<p>2) 白米排出口に糠が付着している</p>	<p>(a) 電源プラグを抜いてください。</p> <p>(b) フロントパネルを外してください。</p> <p>(c) 白米排出口を掃除してください。</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p style="text-align: center;">取扱注意</p> <p>● 白米排出口が、キズ付くおそれがあるので、鋭利なもので掃除しないでください。</p> </div>

困ったとき

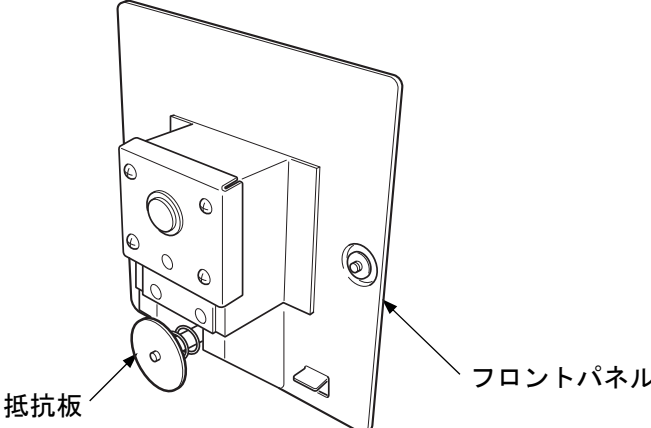
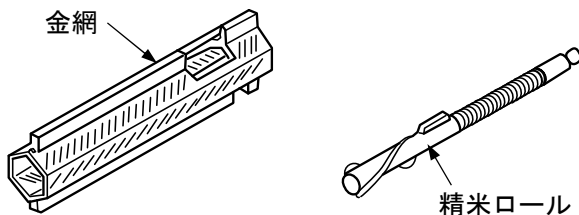
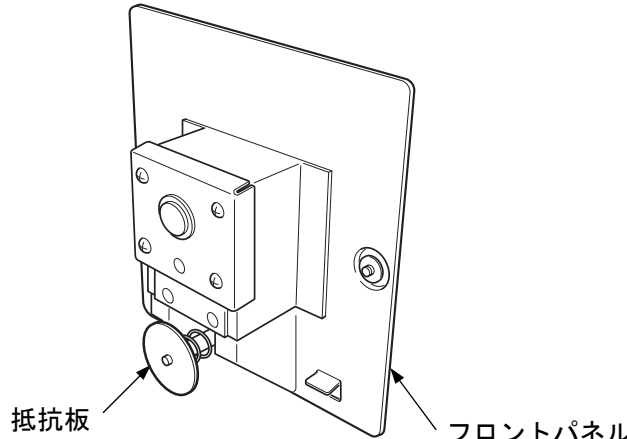
原因	処置方法
<p>3) 負荷のかけすぎ、 または、玄米の水分が高いか、未熟米が多い</p>	<p>(a) 電源プラグを抜いてください。</p> <p>(b) [白さ調整ダイヤル] を [0] の位置まで戻してください。</p>  <p>(c) 後面カバーを外し、ファンを左右に軽く回してみてください。 軽く回るようになれば再始動できます。</p>  <p>(d) 5～10分後に [再始動リセットボタン] を押し込んで運転を再開してください。</p> <div data-bbox="544 1592 1374 1960" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">取扱注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ファンが軽く回らないときは、金網と精米ロールを取り外し、掃除してください。 (17ページ「(3) 金網・精米ロールの掃除・交換」を参照してください) </div> <p>(e) [白さ調整ダイヤル] は前回より少し低い目盛に合わせてください。また、白さが足りないようであれば2回搗きを行ってください。</p>

原因	処置方法
<p>4) 白米受用の箱が一杯になり白米排出口がふさがっている</p>	<p>(a) 電源プラグを抜いてください。</p> <p>(b) [白さ調整ダイヤル] を [0] の位置まで戻してください。</p> <p>(c) 白米受用の箱から白米を取り除いてください。</p> <div data-bbox="545 577 1374 819" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">取扱注意</p> <p style="text-align: center;">● 白米受用の箱に溜まった白米は早めに取り除いてください。</p> </div> <p style="text-align: center;"><u>白米排出口がふさがらない（白米で 15kg 程度）受箱を用意してください。</u></p> <div data-bbox="598 1093 1276 1803" style="text-align: center;"> <p>原料ホッパ</p> <p>白米排出口</p> <p>電源プラグ</p> <p>糠受箱</p> <p>白米受用の箱 (お客様にて用意してください)</p> </div>

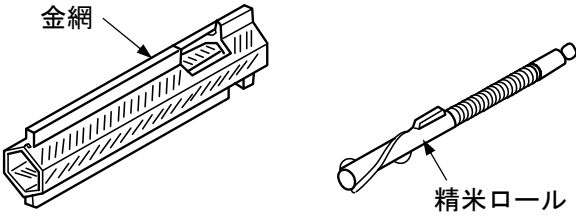
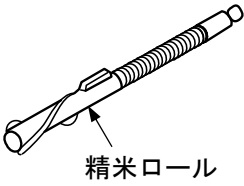
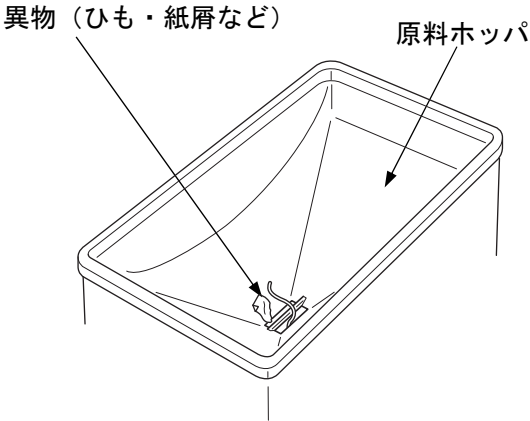
原因	処置方法
	<p>(d) 後面カバーを外し、ファンを左右に軽く回してみてください。 軽く回るようになれば再始動できます。</p> <div data-bbox="545 423 1374 788" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">取扱注意</p> <p>● ファンが軽く回らないときは、金網と精米ロールを取り外し、掃除してください。 (17ページ「(3) 金網・精米ロールの掃除・交換」を参照してください)</p> </div> <div data-bbox="667 920 1294 1503" style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>後面カバー</p> <p>ファンを回す</p> <p>ファン</p> </div> <p>(e) 5～10分後に [再始動リセットボタン] を押し込んで、運転を再開してください。</p>

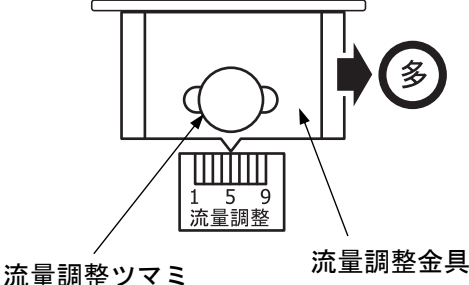
原因	処置方法
<p>5) 糠受箱が糠で一杯になっている</p>	<p>(a) 電源プラグを抜いてください。</p> <p>(b) [白さ調整ダイヤル] を [0] の位置まで戻してください。</p> <p>(c) 糠受箱の糠を取り除いてください。</p> <div data-bbox="539 533 1380 712" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">取扱注意</p> <p>● 糠受箱に溜まった糠は早めに取り除いてください。</p> </div> <p>糠受箱の容量は玄米で 15kg 分です。</p> <div data-bbox="730 846 1161 1108" style="text-align: center;">  <p style="text-align: right;">糠受箱</p> </div> <p>(d) 後面カバーを外し、ファンを左右に軽く回してみてください。 軽く回るようになれば再始動できます。</p> <div data-bbox="547 1361 1372 1729" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">取扱注意</p> <p>● ファンが軽く回らないときは、金網と精米ロールを取り外し、掃除してください。 (17ページ「(3) 金網・精米ロールの掃除・交換」を参照してください)</p> </div> <p>(e) 5～10分後に [再始動リセットボタン] を押し込んで、運転を再開してください。</p>

(3)白さが上がらない

原因	処置方法
<p>1) 抵抗板に糠が付着している</p>	<p>(a) 抵抗板を掃除してください。 (18ページ「(4) 抵抗板の掃除・交換」を参照してください)</p> 
<p>2) 金網、または、精米ロールが摩耗している</p>	<p>(a) 金網、または、精米ロールを交換してください。 (17ページ「(3) 金網・精米ロールの掃除・交換」を参照してください)</p> 
<p>3) 抵抗板が摩耗している</p>	<p>(a) 抵抗板一式を交換してください。 (18ページ「(4) 抵抗板の掃除・交換」を参照してください)</p> 

(4)流量が出ない

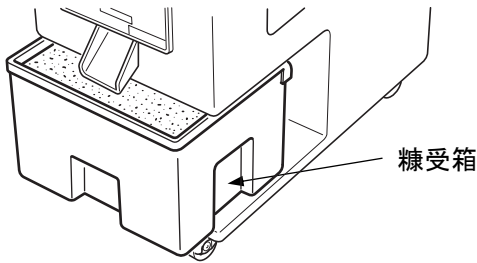
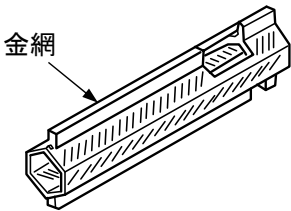
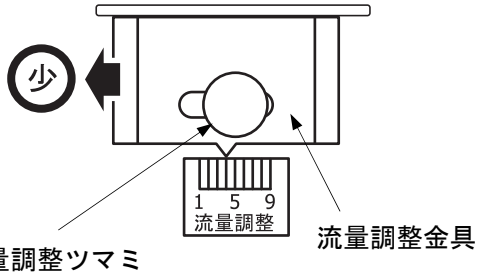
原因	処置方法
1) 金網、または精米ロールに糠が付着している	<p>(a) 金網、または精米ロールを掃除してください。 (17ページ「(3) 金網・精米ロールの掃除・交換」を参照してください)</p> 
2) 精米ロールが摩耗している	<p>(a) 精米ロールを交換してください。 (17ページ「(3) 金網・精米ロールの掃除・交換」を参照してください)</p> 
3) 原料ホッパ下部に異物が引っ掛かっている	<p>(a) 異物を取り除いてください。</p> 

原因	処置方法
4) 流れにくい原料を 精米している	<p>(a) [流量調整つまみ] を緩めて [流量調整金具] を、右へ1目盛動かして流量を多くする。</p>  <p>流量調整つまみ</p> <p>流量調整金具</p>

(5) 碎米が多い

原因	処置方法
1) 負荷のかけすぎ、 または玄米の胴割・未熟米が多い	<p>(a) [白さ調整ダイヤル] を左へ回して、白さを下げてください。</p> <p>(b) 白さが足りないようであれば、2回搗きを行ってください。</p>  <p>白さ調整ダイヤル</p>

(6) 糠切れが悪い

原因	処置方法
<p>1) 糠受箱が糠で一杯になっている</p>	<p>(a) 糠受箱の糠を取り除いてください。</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 20px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">取扱注意</p> <p style="text-align: center;">● 糠受箱に溜まった糠は早めに取り除いてください。</p> </div>
<p>2) 金網が目詰まりしている</p>	<p>(a) ブラシなどで掃除してください。 (17ページ「(3) 金網・精米ロールの掃除・交換」を参照してください)</p> 
<p>3) 流量が多すぎる</p>	<p>(a) [流量調整つまみ] を緩めて [流量調整金具] を左へ1目盛動かして流量を少なくしてください。</p> 

消耗部品

消耗部品のリストと耐久時間について示します。

消耗部品は、表1を目安に事前に準備されることをお勧めします。

表1 消耗部品一覧表

1 俵：玄米 60kg

品名	部品コード	耐久処理量
精米ロール	180790300	40 俵
金網	180790350	40 俵
抵抗板一式	9180790740	40 俵

※「表1 消耗部品一覧表」の耐久時間は、地域、玄米の品種・水分、使用条件等により異なる場合があります。

表2 消耗部品の耐久年数の目安

年間使用量	相当耐久年数
8 俵 (480kg)	5 年
6 俵 (360kg)	6.5 年
4 俵 (240kg)	10 年

※ 年間の使用量をもとに耐久年数を表示しています。

※ 交換の際の目安にしてください。

仕様

表 3 仕様一覧表

項目	機種	精米機
型 式		CBS300
区 分		BS(3)
原 料		玄米（短粒種）
処理能力 (kg/h)		20～24
定格電圧 (V)		単相 AC100
所要動力 (kW)		0.3
主軸回転数 (r/min)	50Hz	1435
	60Hz	1730
タンク容量 (kg)		15
安全装置		過負荷自動停止（サーキットプロテクタ）
機体寸法	全長 (mm)	575
	全幅 (mm)	290
	全高 (mm)	730
機体質量 (kg)		26
使用環境温度 (°C)		5～30

- ※ 性能は、地域、粳の品種・水分、使用条件等により表示範囲内で変動します。
- ※ 記載している原料以外で特殊な原料を使用される場合は、巻末の「緊急時の連絡先」を参照して、事前にご相談ください。
- ※ 環境温度が 5℃以下になると白さが足りなくなったり、排出口付近に糠が付着しやすくなったりする場合があります。また、30℃以上になると白米温度が高くなったり、碎米が増えたりする場合があります。
- ※ 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

寸法図

単位：mm

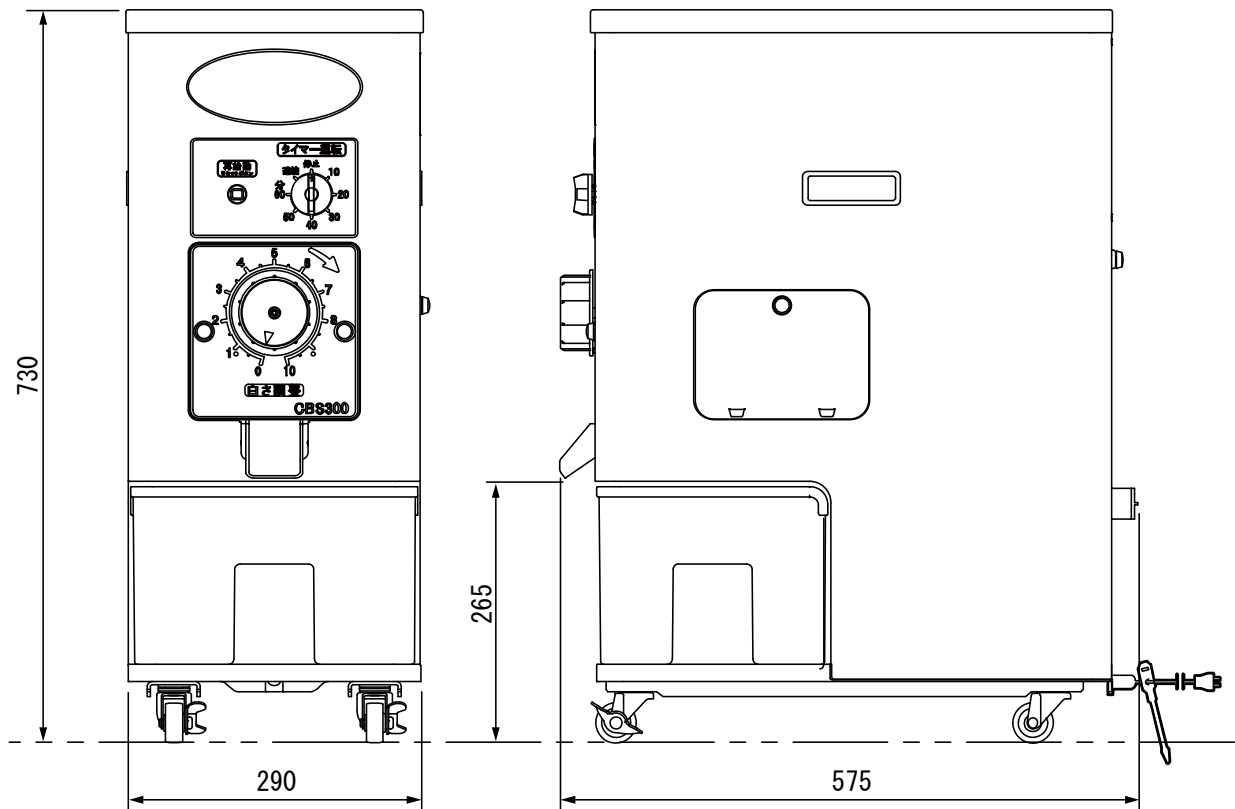


図 7 機体寸法

保証とアフターサービス

取り扱い・修理などのご相談は、お買い上げの販売店またはJAまでお申し付けください。

■保証書（別添付）

- 保証書は必ず、「納入日、販売店名・JA」などの記入をお確かめの上、販売店またはJAからお受け取りください。
- 内容をよく確かめた後、大切に保管してください。

保証期間は、納入日から1年間です。

■補修用部品の供給年限

- この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後10年とします。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期などについてご相談させていただく場合があります。
- 補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給の要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

■修理を依頼されるときには

- 「困ったときの対処のしかた」（20～30ページ）に従っても直らない場合は、お買い上げの販売店またはJAにご連絡ください。

〔保証期間中は〕

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定に従って修理させていただきます。

〔保証期間が過ぎているときは〕

- 修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理させていただきます。

〔修理料金は〕

- 修理料金+部品代で構成しています。

緊急時の連絡先

機械が異常な作動をし、原因が不明で適切な処置が行えない場合、または運転操作方法等に不明な点がある場合は、下記連絡先へご連絡ください。

[1] 販売店・JA（購入時にお客様にてご記入ください）

店名：
緊急時の連絡先：
担当者：

[2] 最寄りの営業所

●販売店・JAに連絡が見つからない場合は、下記最寄りの営業所へご連絡ください。

営業所／所在地	TEL (代表)	FAX	〒
北海道営業所／札幌市白石区菊水3条2丁目 52-254	011 (812) 3666	011 (820) 2007	003-0813
北上営業所／岩手県北上市川岸1丁目 16-1 (東北佐竹製作所内)	0197 (64) 0111	0197 (61) 0001	024-0032
秋田営業所／秋田市仁井田字中谷地 121-2	018 (839) 0891	018 (889) 6001	010-1423
仙台営業所／宮城県仙台市若林区六丁の目南町 2-20	022 (287) 2733	022 (390) 1017	984-0013
小山営業所／栃木県小山市駅南町 4丁目 31	0285 (27) 5060	0285 (31) 1002	323-0822
柏営業所／千葉県柏市大室 1153	04 (7132) 1181	04 (7140) 8018	277-0813
新潟営業所／新潟市中央区長潟3丁目 8-16	025 (287) 0177	025 (257) 1103	950-0932
名古屋営業所／愛知県一宮市赤見3丁目 10-6	0586 (73) 2177	0586 (26) 1040	491-0023
北陸営業所／石川県白山市源兵衛町 793-1	076 (277) 2085	076 (277) 8010	924-0052
大阪営業所／大阪府豊中市稲津町 2丁目 5-1	06 (6867) 6015	06 (6867) 6073	561-0854
広島営業所／広島県東広島市西条西本町 2-30	082 (420) 8575	082 (420) 0010	739-8602
松山営業所／愛媛県伊予市市場 485-1	089 (982) 6990	089 (997) 3231	799-3122
福岡営業所／福岡県太宰府市国分1丁目 7-1	092 (921) 6111	092 (920) 1030	818-0132
熊本営業所／熊本市東区西原3丁目 3-29	096 (382) 2727	096 (386) 2007	861-8029

[3] 製造元 株式会社 **サマケ**

広島本社／広島県東広島市西条西本町 2-30 〒739-8602

●最寄りの営業所に連絡が見つからない場合は、下記連絡先へご連絡ください。

■お客様サポートセンター	TEL : 082 (420) 8543	FAX : 082 (420) 0009
■本社営業窓口 [調製機事業本部]	TEL : 082 (420) 8541	FAX : 082 (420) 0005
■大代表	TEL : 082 (420) 0001	

株式会社 **サタケ**

サタケのホームページ
<https://satake-japan.co.jp/>

□広島本社／〒739-8602 広島県東広島市西条西本町 2-30 TEL 082(420)0001 (大代表)
□東京本社／〒101-0021 東京都千代田区外神田 4-7-2 TEL 03(3253)3111 (代表)

□営業拠点／北海道、北上、秋田、仙台、小山、東京、柏、新潟、名古屋、北陸、大阪、
広島、松山、九州、福岡、熊本

□サタケグループ／

株式会社サタケ、株式会社東北佐竹製作所、佐竹鉄工株式会社、佐竹電機株式会社、
SATAKE USA INC.、SATAKE AMERICA LATINA LTDA.、SATAKE EUROPE LTD.、
SATAKE AUSTRALIA PTY. LTD.、SATAKE (THAILAND) CO., LTD.、
SATAKE ASIA CO.,LTD.、SATAKE INDIA ENGINEERING PVT.LTD.、
佐竹機械（蘇州）有限公司、佐竹軟件技術（蘇州）有限公司。

Copyright (C) 2019 Satake Corporation. All rights reserved.

I1CBS300BACA-X2012D-D